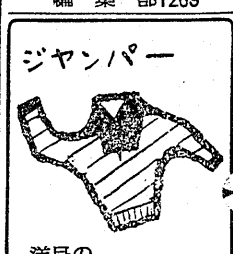
(一) 昭和32年3月15日 (金曜日) 第2060号　常磐毎日新聞　(昭和31年1月22日 第三種郵便物認可) 夕刊 (日曜祭日、休刊)

常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
営業部専用1210
編集部1269

ジャンパー

洋品の
ヤマカ
平2 電605

活発な質問戦で再會

平市予算議会

休会明けの平市予算市議会は定刻より二十分遅れて十五日午前十時二十分から全古議員をのぞいて全議員が出席して開会した。この日の議会は二日間の休会で各議員とも予算書を充分検当したのかなかく活発、まず市長の施政方針と三億八千万円にのぼる三十二年度当初予算をめぐって上坂議員を始め十六議員が登壇、活発な質問戦を展開したがなかでも上坂、小野栄両議員が現在関心を集めている市営バス問題をとりあげて「実現せぬ既においては諸橋市長の命取りとなる。市当局の明確なる答弁を望む」など数項目の重要問題をなかに市当局と亘り合うなどの質問が行われた。午後十二時十分休憩、午後一時からは午前中に引き続いて各議員からの質問が行われた。

内容の乏しい市政演説

市営バスは命取りにならぬか

教育文化に重点

バスは五市合併の前提

上坂議員＝①市長の施政方針では平市の進展する方向が明確になっていない。このことから工場誘致常磐炭礦製塩工場の処置について②国庫補助金が総予算の一、八%を占めているこれは住民の負担が多くなる③予算は競輪財入に依存していることは妥当か④平市が今後早急になすべき事項⑤市営バスは市長の命取りとなる恐れがある本年はどの点まで進展させるのか⑥内郷市が平競輪場の借用を申し込んでおり、月四千万の収入を見込んでいるがこれはどうか⑦内郷市と平市合併についての市長の考え⑧生活扶助の処置について⑨簡易住宅の予算が計上されていないが、これはどういう為か⑩中古自動車を三十万円で購入するかこの線はどこから出たのか⑪下水道工事の工事が未熟である理由は採用方法に疑いがある⑫給与の不合理について是正せぬか⑬家賃の安値な住宅は建築しないのか⑭負担金を削減すべきである。

諸橋市長答弁＝①の施政方針の内容については必ず実行する②平市の今後の発展は産業文化、教育文化に重点を置く③五市の大同合併問題については今後更に考慮すべき点があるが、市営バスはその合併を一歩すすめる最も近道であると信じている。

伊藤助役答弁＝①製塩工場問題は時期の問題である②競輪場を他市を借した場合平市としては約一千万円程度の不足を期たすがこれは運営方法で緩和する③市営バスの予算処理については特別委員会で審議中であり、各市との接渉によって各市とも今月中の市議会で事務組合を結成する見通しが強い状勢にあるので、この市議会での決定を待つ当局は相当額の出資をしたがこの配当金などはどうか⑤草野小中。校の屋内体育館建設が強く要望されているが、この予算措置についてはどうか

水竹議員＝①給与の不合理と職員のデコボコ調整を是正せよ②消防団員二百余名の減員についての当局の考え③古鍛治の舗装は行うのか。

伊藤助役答弁＝①職員の給与について予算処置を講ずる

坂本登議員＝①平の推進を図るため企画室を設ける意志はあるか②磐城、平線の幹線道路の早急化を図るべきである③農林費は更に増額すべきだ④技術員を助員して農村の振興を図れ④波立と豊間を結ぶ観光道路の早急化⑤公民館長は支所長が兼務しているが不合理である。

諸橋市長答弁＝①企画室設置は賛成であり検当したらえ議会の議決を図りたい②磐城平線の完成早急化を図る

小野栄議員＝①跨線橋解決によって裏口出札所の建設に着工したが完成は何時か②市営バス運行に際しての財源はどうか③冷凍工場建設に当って一千万円を預託するというがこの利子などについてはどうか④ラジオ福島設置に際して市当局は相当額の出資をしたがこの配当金などはどうか⑤草野小中。校の屋内体育館建設が強く要望されているが、この予算措置についてはどうか

伊藤助役答弁＝①裏口出札所は三月三十一日に落成する見通しである②市営バスの出資金などについては検当中であり、実現の見通しが強くなって来た。

磐城市議會の日程

磐城市の定例会議日程は次の通りで行う。▽十五日午前十時本会議（一般質問）▽十六日午前十時建設委員会▽十七日休会▽十八日午前十時産経委員会▽十九日午前十時文教厚生委員会▽二十日午前十時総務委員会▽二十一日午前十時総務委員会▽三件（都市計画税創設、機構改革、工場設置奨励条例）特別委員会▽二十二日午前十時本会議（委員長報告、討論表決）

北海道行き季節労務者

八割は決る

平公共職業安定所では北海道季節労務者の募集を行っているが割当百名に対してすでに八割が決定、残る分も三月下旬までには全部確保できる見通しがついた。同安定所に対する求人申込みは帯広職安所関係の川西農協三十五名、札幌では江別農協の十六名、滝川は滝川農協の十八名、岩見沢は三笠農協の十三名だが、すでに川西農協は三十五名が全部決り、江別農協は十六名に対し十七名、滝川は十八名に対し十九名といずれも余裕をとり、たゞ三笠農協は十三名となっているが、同所員必死の開拓によりこれも三月下旬までに決定する見通しがついている。

昨年の当所割当ては百二十一名に対して実績は九十九名、中通り、会津方部と違って浜と山を控えているだけに、北海道季節労務者の開拓は容易でなく、それだけにこれの成績は加藤所長以下の努力が実を結ぶものとみられている。特にこれの傾向として目立っているのは集団申込みが多いことで三年前わずわ二、三名程度だつた三和村はことし二十三名、遠野町は三十名と集団的に参加することになっている。

常磐の賃斗妥結

古河好間労もスト解除

古河好間労組（千七百名）では無期限ストを続け、常磐労組（一万一千名）でスト一歩前という大詰に入つた春の新賃金斗争は十五日朝両組合とも妥結したこのため古河好間ではスト解除常磐労組でもストライキを中止した。

二千円のベースアップを要求して千三百円の線で妥結した炭労大手十四社好間労組では七十二時間スト から引続き単独斗争を行い会社側と団交をしながらストに入つていたが、十五日午前七時労使とも歩みより早出、残業手当は要求通り三七パーセント（現行三十四パーセント）深夜業手当は三十五パーセント（現行三十パーセント）を獲得、また現行の八百円を千三百円の要求していた生産能率給は精勤手当として千円に増額支給することで妥結したもの。

なお炭労春季斗争の分も入れて減産は約八千五百トンが見込まれている。

ベースアップなど要求して全山無期限ストをかけた常磐労組の斗争は労使双方ともスト回避する動きが強く最後まで交渉を続けた結果十五日午前三時三十分ベースアップ千三百円、一月から三月までの差額金六千円支給、さらに会社側が四月十五日では三倍額増資する記念と賞金円満妥結の意味も含めての協力賞として五千円を支給することで妥結した。

家具類のあるが
平銀座店電三三
千四丁目店

銘菓 くい段最中 平凡

平市職組

平市職員組合の第の委員会

十回委員会は十六日午後一時から開き、次の議題について協議する。◇給与の不合理是正について◇第十回定期大会について＝四月六日午後一時から平市公会堂◇三十二年度運動方針について＝①給与の不合理是正について②一律二千円の賃上げについて③超勤手当の完全支給④交通費の支給⑤産休と欠による昇格率の明示⑥臨時職員の昇格定数化⑦新規採用の試験制度化⑧各課の人事交流など十数項目。

今晩のラジオ

◆NHK（第一）
子供の時間
次郎物語
スポーツ便り
四局通信
録音ニュース
花の星座
演芸独演会
ニュース解説
歌謡劇
週間社会展望
思い出の名作放送劇
きょうの国会から

◆ラジオ福島
トニーの童話
赤胴鈴之助
永遠に答えず
音楽の小箱
録音ニュース
中合アワー
エンゼルタイム
楽人歌合戦
テルミーおしやれ
ミュージツク
明色の歌謡ゲーム
ユーモアうた合戦
名作アルバム
夜の案内
夜の調べ
右門捕物帳
時事解説

今晩の映画

鈴木ミシン商会
平市五丁目電一〇九八

▼東映劇場　十九日マデ
鮮血の暗殺
米

▼世界館　十九日マデ
女殿ケ島珍道中
謎の紫頭巾
駅馬車襲わる

▼民劇　十九日マデ
この二人に幸あれ
山と川のある町

▼ひかり座　十八日マデ
赤い風船
首輪のない犬
沈黙の世界

▼栄楽館　十五日マデ
二世部隊
野性の女

▼平館　十九日マデ
正義派
炎の氷河

お酒 一良久
平市五丁目電三三八

女子解版員〔三名〕募集
一、年令　十七才―二十才まで
一、平市内居住者
希望者は履歴書持参のこと
常磐毎日新聞社
平市田町 電二二〇・二六九

お断わり

紙面の都合で本日付の小説「笛の詩」を休載致します。

壮烈！精兵無比を誇るインド・ガイバー銃隊が起「ヒマラヤもろし！」
反乱軍粉砕にヒマラヤ山脈をゆるがすガイバー銃隊の突撃！
壮烈ガイバー銃隊
ダイロン・パワー
リー・ムニア
マイケル・レニイ
CINEMASCOPE
総天然色
16日より20日
特作料金
55円
底抜け艦隊
電気スタンドは白山電気 平和2丁目

銀座へヤマカが移転
今迄一丁目角にて御不便をお掛けして参りましたが御陰様にて今般銀座通りへ移転致しました。
駅に近いので何かと皆様の御便宜に役立つ事と存じております。益々センスあるスポーツ着と研究されたスポーツ用品の充実を期してモリモリ張り切る所存でご座居ます。銀座散歩の折りに
ヤマカの親父居たな！の軽い気分でお立ちより下さいませ。
スポーツ
ヤマカ 運動具
山家博孝 TEL1966

新入學のお子さんをもつ お母さん方の心得六章

子供たちには指折り数えた小学校一年生……はもうすぐやってくる、いままで自分でズボンをはくのも何んにも出来なかつた幼い子たちも入学、家庭の暖かい手から離れて学校という共同生活を過すことになるが、子を持つお母さん達はそれぞれ心労が重いと思うそこで新入学を迎えた家庭への贈りものとして、学校は楽しいところ、身のまわりのしまつ、字や数のけいこなど新入学のしけつ虎の巻を紹介しよう。（鈴藤デパート提供）

一章、学校は楽しいところ

はじめて団体生活をするので、今まで家の人とばかり遊んでいたことどもや内気で友だちのなかつたことどもにとつて非常にわずらわしい感じをもたせ心の重荷となりがちです。その上、とかく何かすると「先生に言いつけますよ。」とか「先生に叱られるから」とか、お母さん方の口癖のようになつているのが今までですが、今の学校は楽しいところ、いろいろな遊戯をしたり、みんなで本をよんだり、体そうをしたり、やさしい先生がいろいろなことを教えてくれる楽しいところ、わからない時は何んでも先生にきいて見なさいという風に教えて下さい。」

それでなくても、入学後の一、二カ月の間はわずか半日の学校生活が今までの一日以上の学力消耗となつているのですから…

二章、字や数のけいこ

よく入学前に、家の子は平仮名も片仮名も全部よみかき出来るとか百まで数えることが出事るとか、むりやりにこどもに詰込んでいるお母さんがおりますが、字や数は学校で系統的に心理的段階にそつて教えて行くようになつているのですから、家庭では犬の曲芸のようにむりやりに教えない方がよいでしょう。

せめて数は十まで位、字は平仮名で自分の名前をかける程度で結構です。「十で神童、十五で何とやら二十すぎれば只の人」という悲劇は今のこどもには与えないようにしましょう。

いまの学校は、自発的に学ばせる仕組になつておりますから、教科書もその勉強の一つのメドとして作られてあり、お母さん方が習つた当時の教科書とはぜんぜんちがつて絵本のように絵の多い、しかも色刷りのきれいなものとなつております。これは昔のように先生が教えるよりも、こども自体が進んで自発的に考え、理解し、覚えるという仕組になつているためです。これがいまの教育の基本なのです

三章、身のまわりのしまつ

一年生になるからといつて何でも自分でできるようにするという事はむりですが、自分でズボンをはいたり、上着をきたりする位はできるようにしましょう。それにはズボンのボタンなど、うまくはめられないこどもには別の形にするとか、上着はチヤツク式にするとまづ、ぺんじょにいつたら用便後かならず手をあらうことにくせをつけて下さい。これは習慣さえつけばむずかしく言わなくてもできるようになります。

用便のことですが、お家でズボンをぬいでゆくくせになつている人などは、ズボンをずらしてできるようにさせて下さい。そしてちり紙は何まいつかつてどういう風にしてふくかというように、実さいに手をとつて教えて下さい入学当時は、団体生活の気苦労でその方に全神経をつかうので、とかく自分の体のことはあとまわしになりがちで、よくむぐして来たり、泣きく帰つて来たりするものです。

又、もとく体の弱いお子さんの場合は、学校へ行くようになつて休みがちになるなど、学校がいやになりますから専門医に診てもらつてその対策をしておきましょう。

四章、えいせいのこと

百まで数えることが出事るとか、むりやりにこどもに詰込んでいるお母さんがおりますが、字や数は学校で系統的に心理的段階にそつて教えて行くようになつているのですから、家庭では犬の曲芸のようにむりやりに教えない方がよいでしょう。

せめて数は十まで位、字は平仮名で自分の名前をかける程度で結構です。「十で神童、十五で何とやら二十すぎれば只の人」という悲劇は今のこどもには与えないようにしましょう。

いまの学校は、自発的に学ばせる仕組になつておりますから、教科書もその勉強の一つのメドとして作られてあり、お母さん方が習つた当時の教科書とはぜんぜんちがつて絵本のように絵の多い、しかも色刷りのきれいなものとなつております。これは昔のように先生が教えるよりも、こども自体が進んで自発的に考え、理解し、覚えるという仕組になつているためです。これがいまの教育の基本なのです

五章、遊べるように

幼稚園に行つていたこどもは、たいてい友達と遊べるこどもになつていますが、中には、おばあちやん子とか一人つ子とかで何処へ行くにも親としか行かず、一日中大人とばかり遊んでいて同じ年ごろの友達と遊んだことの少ないこどもは、急に団体生活の中に入つても、おじけついて口もきけなかつたり、本もひらかずぼんやりしていたり、校庭のすみで一人ぼつちでいたり、このようなことになりますと学校がいやになつたり、大きくなつて問題をおこす子になつたりしがちです。

ですから今まで友だちのなかつた家庭では、つとめてこどもたちの集まりの中へつれて行き、その環境になれさせたり、友だちとの遊び方などを覚えさせたりしておくようにして下さい。

六章、だいじな我が子

どのお母さんにとつても一番だいじな我が子です。

通学の途中のきけんは、市街地になるほど多いのは毎日の新聞でよくごらんになる通りです。

学校がきまつたなら、家からのきよりやこどもの歩く時間など、実際にこどもと歩いて見てはかつておき、始まる時間とにらみ合わせて家から送るようにしましょう。

何といつてもこどもは天使、時間が早ければあつちむき、こつちむき歩いて行くのは当り前です。そこにきけんがあるわけです。又必らず右側を通るようにくせをつけましょう。それでなくてもきけんの多い昨日今日ですお互に規則を守り、同時にだいじな我が子をきけんにさらさないように気をつけましょう

四月から小学校に入学される御子さんは、その日を指折り数えて毎日学用品を見て楽しんでいられることでしょう。心から御祝い申上げます。

おむつの世話や、食物、衣服のことまで夜も昼も身を砕いて養育された親さんとしては先づ一安心ということでしよう。何人子供があつても学校に入学させることは子供の将来に対して新しい嘱望と幸福とを祈念するつかり教えて下さい。学用品は華美なものはさけて実用的な丈夫なものを選び、必要以外のものは学校に持参させることは禁物で、持物には全部名前を附けて置くことです。

三月二十六日は平市では入学取扱日になつていますから就学すべき学校に御子さんを連れて御出掛け下さい。この日は医者の体格検査もあり、校長先生とも御話合になる機会もありますから御子さんについて学校に御頼みして置いた方がよいと思われる点がありましたら御相談されたらよいと存じます。

幼稚園や保育所等で子供同志の共同生活に慣れている子供や家庭から直ちに小学校に入学する者様々ですが就中家庭から直ちに入学する御子さんは始めは恐怖心から表面認められないような境遇に置かれた、学校を楽しく思わないようになることがありますが、これは何も心配することはありません、却つて真面目な態度で学習するよい習慣が早く身につく場合が多いことを見聞しますので親さん方は大いに子供を励まして下さい。

（写真は長谷川教育長）

就學兒童の親さんに

平市教育長　長谷川政（上）

同じであります。こんな望を持つて入学させますので私共教育行政に働いている者としては御要望に副うような学校教育の場として御子さん達を御待ちしたいと考え、入学を前に二三私の考えを申上げます。

先づ就学通知書を受取られた戸籍と比べ綴柄や姓名、或は住所などに誤りがないかを確かめ正しい名前と住所を教えて置くこと、又入学前は余り無理をして五十音や数字を教えなくともよいので自分の名前が書け十位まで数えられれば十分ですからはぎくと返事の出来るようにして置くことです。自分で鼻をかむ、便所に行く、紙や手拭を持たせるなどの習慣は今からしかならず出来ることですから御心に変りはありません。この子が身体が丈夫で学業もよく出来素直を正しい若者となり、更に独立の生活も出来親にも孝行で兄弟も仲よく社会の御役にも立つような民主的なよい人にさせたいと思うのはどこの親さんも

御入學・進学用の
御用命は
平の銘菓
を進呈する
鈴藤へ

友達は皆んなが着ている 鈴藤の学生服
進学・入学用品大会!!

☆新入学生用☆

KO服太鼓判印純綿ギヤバ長ズボン	大	990
	中	920
	小	850
セーコー印ナイロンサージ	7号	1、820
	8〃	1、890
	9〃	1、950
学生服 太鼓判印純綿半ズボン	大	920
	中	850
	小	780
〃 純綿1号ベター裏なし		500
2〃 〃		550
1〃 裏付		700
2〃 〃		760
〃 1号綿ギヤバ裏なし		730
2〃 〃		780
〃 1号純綿ギヤバ裏付		980
〃 2〃 〃		1、070
セーコー印セーラー服1尺8寸化繊サージ		1、150より
〃 2 尺 〃		1、250〃
東洋レーヨン5600番 1、7寸		1、500

各サイズ取揃えました

☆進学用☆

サクラダイヤモンド印純綿ギヤバ裏付	7号	980
〃	8号	1、050
〃	9〃	1、130
倉敷ビニロン混紡	7〃	2、150
	8〃	2、250
ニチレナイロン混紡	7〃	2、300
	8〃	2、450
	9〃	2、600
日毛純毛サージ	5〃	7、600
	6〃	7•800
	8〃	8•000
洋傘 小学生用		240より
特価奉仕中		
ビニールレインコート 1、8寸		240より

常に最高品を誇る……
常に親切丁寧なる品……
キツト買いたくなる品……
是非奨めたくなる品……
もつとも経済的な品を……
モツトーに当店の学生……
服を揃えました……

御目出度うご座居ます
各通学服お買上げ毎に御希望品を進呈いたします
平の銘菓
じやんがら•平餅•竜燈殿中
小学生さんにはノートもつけて差上げます

衣料品のデパート 鈴藤 TEL 1654 1956